

TOSHIN Hearing NEWS

2015年11月発行



代表取締役社長
岩名幸信

ご挨拶

深冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

先程、日本補聴器工業会より発表された補聴器出荷台数(2015年1~9月)は419,594台と前年同期に比べ107.0%と高い伸びを示しています。

一方、先日発表された Japan Trak 2015 を見ますと、補聴器を取り巻く環境は、補聴器先進国と呼ばれる欧米にはまだまだ及ばず、考えさせられることも多くあります。

東神実業株式会社は今年創立65周年を迎え、今後も業界のリーディングカンパニーとして難聴者の立場にたった販売を常に心がけ、きこえでお困りの方々に信用信頼をいただけるように努力する所存でございます。

目次

- 1 ご挨拶
- 2 Japan Trak 2015
- 3 知っておきたい3つの制度

Japan Trak 2015 が発表されました！

JapanTrakとは、きこえと補聴器を取り巻く現在の諸問題を抽出し、欧米諸国の一部同様なデータとの比較も行いつつ、全難聴者のQOLの向上に寄与する対策を検討し提案する為の調査であり、アノバム社(スイス・チューリッヒ市)が一般社団法人日本補聴器工業会の代理として3年に一度実施されており、今回で第2回目の大規模市場調査です。

概要

人口調査に基づいた **14,316** 人の代表サンプルから、

難聴者 **1,306** 人 / 補聴器非所有難聴者 **890** 人 / 補聴器所有者**416**人

についてアンケート調査を実施。

調査項目

市場概要	補聴器所有者に関する分析	補聴器非所有難聴者に関する分析
難聴者比率と補聴器所有率	補聴器の所有、補聴器入手以前の難聴の自覚、補聴器の寿命と使用状況	補聴器を使用しない理由、補聴器はわずらわしいと考える理由
補聴器所有までの道のり：情報源と離脱する割合	補聴器の満足度と影響因子	難聴による社会からの拒絶感と補聴器の社会的受容度の比較
補聴器使用による潜在的な社会的費用の削減：仕事上の優位性、うつ病、認知症、睡眠の質	補聴器から得られる良い影響、生活の質(QOL)の向上	購入の意向、購入に至る重要なきっかけ

姫路営業所が移転しました



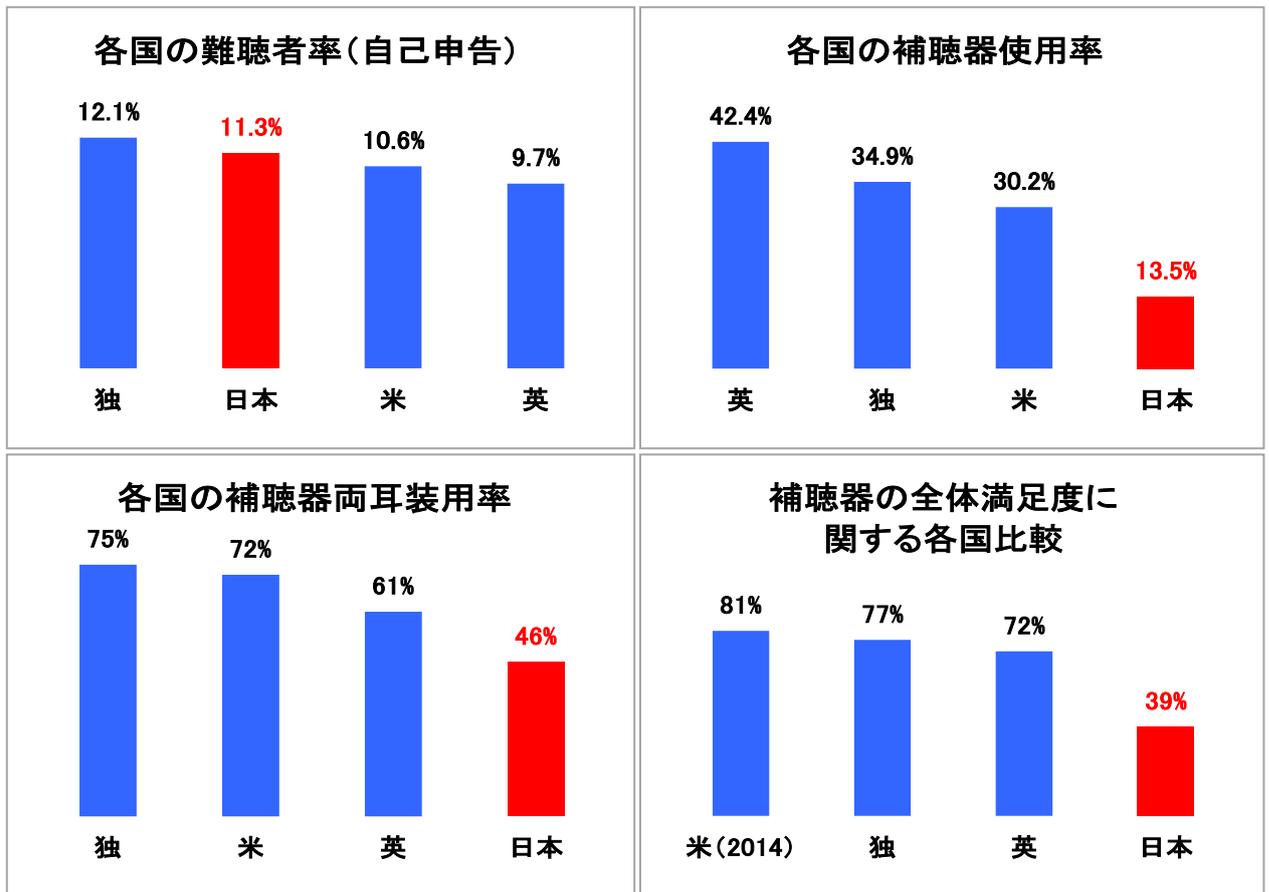
姫路市西駅前町 73番地
姫路ターミナルスクエア 5階

TEL:079-288-8133

FAX:079-281-4319

営業時間:9:00-17:00

Japan Trak 2015 欧米諸国との比較



自己申告による難聴者率は 11.3%であり、そのうち補聴器を所有している割合は 13.5%、そのうち両耳装用は 46%と欧米諸国に比べるとまだまだ低い数字であり、「補聴器を所有するまでの道のりで離脱するポイント」として以下の3つが挙げられた。

「① 医師に相談しなかった ② 医師が推奨しなかった ③ 本人の意思で購入しない」であり、これら3つの複合的な要因で離脱すると考えられるが、医師に相談しても実に半数以上が補聴器を勧められず、特に行動する必要はないと言われている、という結果であった。

補聴器の有用性・満足度についての項目では、補聴器所有者群の84%が仕事に役立っていると回答しており、「うつ病、認知症」に対しても、そのリスクは低い結果であった。また補聴器所有者群の方が「睡眠の質」の項目において、非所有難聴者群よりも満足していると回答した。

私達が最も注目すべき点は補聴器に対する満足度が39%であり、欧米の満足度80%近くと比較するとその差は大きく、今後の日本の補聴器業界における課題が改めて浮き彫りとなった。

補聴器購入の際に知っておきたい3つの制度【1/3】

1. 医療費控除
2. 障害者総合支援法
3. 市区町村の独自制度

1. 医療費控除

補聴器は原則医療費控除の対象外とされていますが、医療を受ける上で必要だと認められた場合、適用される制度であり、誰もが無条件に認められる訳ではないので注意が必要です。

※申請時には医療を受ける上で補聴器が必要であるという診断書が必要です。詳細は所轄の税務署へご相談ください。